

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
			○	

事務事業No 758 事業名 地方道整備事業（中平井線）

〔事業基本情報〕

分野別目標	4	自然環境と都市基盤が調和した快適なまち
政策	1	道路網の整備
施策	1	基幹道路網の整備
基本方針	2	重点整備区間道路の整備

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務
	その他	○	
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		土木費
	項		道路橋梁費
	目		地方道整備事業費
	大事業		地方道整備事業
	事項		中・平井線

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間	H22	～	H27
事業実施の根拠法令	道路法、都市計画法		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	道路建設課	且来 明	435-1087
関連課			

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
		○		
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か	事業内容				
市道中平井線は、現在事業中である第二阪和国道・和歌山岬道路の新設ランプと一般国道26号を結ぶ新設アクセス道路である。 当該箇所を整備することにより、道路網のループ化による交通混雑の緩和及び関西国際空港、大阪方面へのアクセスの向上が図られ、新しいまちづくりや地域の活性化に寄与します。 また、本道路は和歌山市地域防災計画における物資拠点及び防災ヘリポートである和歌山大学と東南海・南海地震対策としての防災拠点であるノーリツ鋼機を有効活用する道路であり、和歌山北部地域における防災上の重要な役割を担っています。	道路規格：第3種第3級 設計速度：50km/h 延長：2,190m 幅員：25m（代表幅員） 総事業費：3,900百万円				
実施内容	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	用地買収 250.91㎡ 477千円 道路新設工事 165,123千円 トンネル工事 1,600,000千円 環境対策費 170,000千円	道路新設工事 136,000千円 トンネル工事 400,000千円（継続工事） トンネル設備工事 168,000千円 道路詳細設計 3,000千円 環境対策費 10,000千円	道路新設工事 87,000千円 トンネル工事 346,800千円（継続工事） 環境対策費 10,000千円		

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	1,937,060	491,192	719,970		446,800					
伸び率 (%)	-	-	-62.8%		-37.9%		-100.0%		-	
人件費	常勤職員	24,884	25,865	25,865	25,865					
	非常勤職員	0	0	0	0					
小計	24,884	25,865	25,865		25,865					
国庫支出金	882,800	244,958	353,500		221,900					
県支出金										
市債	855,834	231,500	356,400		202,400					
その他										
一般財源（税等）	198,426	14,734	10,070		22,500					
所要人数	常勤職員	3.35	3.40	3.40		3.40				
	非常勤職員	0.00	0.00	0.00		0.00				
主な予算内訳	工事請負費714,000千円、測量設計委託料3,000千円等									

3 目標及び実績

指標名及び達成状況	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値	年度目標値	実績値
活動指標	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度						
成果指標	事業進捗状況	年度目標値	1,937,060	719,970	446,800					
	単位	千円	全体目標値	3,900,000	全体目標達成度	15.3%	年度別達成度	25.3%		
単位	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>事業のニーズについては、平成26年3月に中平井線をメインの駐車場出入口とする大型商業施設が開店したことに伴い、現国道26号の交通量が大幅に増加している。府県間道路である国道26号の渋滞対策としては、第二阪和国道の供用が不可欠であると同時に同道路に連絡する中平井線についても1日も早い供用が求められている。成果目標の達成度としては、15.3%と低い数値ではあるが、事業費の大半を占めるトンネル工事は発注済で、工事に着手していることより、工事の進捗に応じ達成度は上がります。なお、予算の貼り付けについても平成25年度補正予算で12億円を前倒ししており、平成27年の国体までの供用に向け、工事を発注する予定である。また、中平井線が完成することにより、長期総合計画の重点整備区間道路7路線の内の1路線が完成するため、進捗率の達成に一定の貢献度はある。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>今回、コスト投入における見直しは、平成26年度の当初予算約19億円を予定していたが、補助事業の事業費平準化の観点から平成25年度補正において、12億円前倒しを行った。これに伴いトンネル工事の年割額も前倒しすることになり、請負業者に対しても工期の短縮を促す結果となる。</p>